

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称
製品コード
会社名
担当部門
住所
電話番号
FAX番号
電子メールアドレス
緊急連絡先
推奨用途及び使用上の制限：肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

酸化カルシウム酸化マグネシウム
2006 苦土生石灰
全国農業協同組合連合会
耕種資材部
〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F
03-6271-8285
03-5218-2536
zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
03-6271-8285

2. 危険有害性の要約

GHS分類	酸化カルシウム	酸化マグネシウム
物理化学的危険性	爆発物	分類対象外
	可燃性ガス	分類対象外
	エアゾール	分類対象外
	酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	—
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分に該当しない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類対象外
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	生殖毒性・授乳影響	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1（呼吸器）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（呼吸器）
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
	水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示（ピクトグラム）



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H315
H318
H370
H372

皮膚刺激
重篤な目の損傷
臓器の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き
安全対策

P280

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること

応急措置	P264	取り扱い後は水でよく洗うこと
	P260	粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
	P302	皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと
	P304	皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当をうけること
	P305	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
保管 廃棄	P308	目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトを容易に外せる場合は外して、洗浄を続けること 直ちに医師の診断をうけること
	P405	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること
	P501	施錠して保管すること。 内容物/容器を地域の規則に従って廃棄すること。

3．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質 単一製品
化学名又は一般名 酸化カルシウム・酸化マグネシウム

組成物質名	CAS登録番号	化審法官報公示整理番号	安衛法	濃度又は濃度範囲
酸化カルシウム	1305-78-8	1-189	公表	60%以上
酸化マグネシウム	1309-48-4	1-465	—	30%以上
結晶質シリカ	14808-60-7	1-548	公表	3%以下

製品は天然の鉱物を原料としており、不純物としてシリカを含有しております。

4．応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。 多量の水で洗うこと 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトを容易に外せる場合は外して、洗浄を続けること 直ちに医師の診断をうけること
飲み込んだ場合	速やかに口をすすぎ、直ちに医師の手当、診断を受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	吸入： 灼熱感、咳、息切れ、咽頭痛口 皮膚： 皮膚の乾燥、発赤、皮膚熱傷、灼熱感、痛み 眼： 発赤、痛み、かすみ眼、重度の熱傷 経口摂取： 灼熱感、腹痛、胃痙攣、嘔吐、下痢
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	眼の中で水分やたんぱく質と反応して生成した酸化カルシウムの塊は水洗浄で除去するのは困難。

5．火災時の措置

適切な消火剤	二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤	棒状注水
火災時の特有の危険有害性	火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガス及びヒュームを発生する口 おそれがある。 不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して腐食性又は 毒性の煙霧を発生するおそれがある。 加熱あるいは水の混入により容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法	少量の場合は、乾燥砂等で被覆し、窒息消火する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め、適切な化学用保護衣を着用する

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や粉じん、ミストの吸入を避ける。
環境に対する注意事項	粉じんの発生、拡散を防ぎ、河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	飛散、こぼれた物質を乾燥容器内に掃き入れる。
二次災害の防止策	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
	衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保管	接触回避 安全な保管条件 安全な容器包装材料	適切な局所排気の実施 容器を密閉し、涼しい乾燥した場所に保管すること。 耐アルカリ性容器
----	------------------------------	--

8．ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない		
許容濃度	酸化カルシウム		
		日本産衛学会	第3種粉塵：その他の無機及び有機粉塵（吸入性粉塵） 2 mg/m3 （総粉塵） 8 mg/m3 □
		ACGIH	TLV-TWA2mg/m3
	酸化マグネシウム		
		日本産衛学会	第3種粉塵：その他の無機及び有機粉塵（吸入性粉塵） 2 mg/m3 （総粉塵） 8 mg/m3 □
		ACGIH	TLV-TWA10mg/m3
設備対策		工程の密閉化、局所排気、その他の設備対策を使用する。	
保護具	呼吸用保護具	防塵マスク	
	手の保護具	保護手袋	
	眼、顔面の保護具	保護眼鏡（ゴーグル）	
	皮膚及び身体の保護具	顔面用の保護具、保護衣、安全靴等の保護具を着用すること。	

9．物理的及び化学的性質

物理的状態		酸化カルシウム	酸化マグネシウム
	物理状態	固体/粉末	固体 (20℃, 1気圧) (GHS判定)
	色	白色～灰色結晶性	白色 (HSDB (2015))
	臭い	無臭	無臭 (HSDB (2015))
融点・凝固点		2,572℃ (Merck (15th, 2013))	2,800℃ (ICSC (2010))
沸点又は初留点及び沸点範囲		2,850℃ (NFPA (13th, 2002))□	3,600℃ (ICSC (2010))
可燃性		不燃性	
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		不燃性	
引火点		不燃性	不燃性 (ICSC (2010))
pH		飽和水溶液中では約 12.8 (HSDB (2016))	10.3 (20℃, 飽和溶液) (GESTIS (2015))
溶解度		0.12g/100mL水 (HSDB (2005))	水に微溶 (ICSC (2010))□ 酸及びアンモニウム塩溶液に可溶。 エタノールに不溶 (HSDB (2015))
密度及び／又は相対密度		3.3-3.4	最小値3.2 最大値3.75 (WebKis-Plus (2015))

1 0．安定性及び反応性

反応性	空気中の水、炭酸ガスを吸収して水酸化カルシウムと炭酸カルシウムを生成する。 水と反応して、可燃物を発火させるのに十分な熱を発生する。
化学的安定性	不燃性
危険有害反応可能性	酸、ハロゲン、金属と激しく反応する。
避けるべき条件	水、酸、可燃物、金属類との接触。
混触危険物質	酸、ハロゲン、金属

1 1．有害性情報

急性毒性（経口）	経口マウス(酸化カルシウム) LD50 5916mg/kg（食品安全委員会添加物評価書 (2013)) 経口マウス(酸化マグネシウム) 3,870 mg/kg (雄)、3,990 mg/kg (雌) との報告 (HSDB (2015))
急性毒性（経皮）	データ不足
皮膚腐食性／刺激性	(酸化カルシウム) 湿った皮膚に対して強い刺激性を示す (ACGIH (7th, 2001))
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	(酸化カルシウム) 粒子状酸化カルシウムが眼に重度のやけどを引き起こす可能性がある (ACGIH (7th, 2001))
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データ不足
発がん性	データ不足
生殖毒性	データ不足
生殖毒性・授乳影響	データ不足
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	(酸化カルシウム) 本物質は水と反応して水酸化カルシウムを生じる。□ ヒトでは大量の水酸化カルシウムの短時間ばく露により肺水腫とショックを起こす(PATTY (4th, 1993))
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	(酸化カルシウム) 生石灰の吸入による呼吸経路の炎症、鼻中隔の潰瘍及び穿孔の報告 (ACGIH (7th, 2001))
誤えん有害性	データ不足

1 2．環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性 (短期/急性) データなし 水生環境有害性 (長期/慢性) データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし

土壌中の移動性 オゾン層への有害性		データなし データなし
1 3．廃棄上の注意		
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと	
汚染容器及び包装	発熱のおそれがあるので大量の水中に少しずつ投じ、これを希硫酸等で中和して処理する。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること	
1 4．輸送上の注意		
国際規制	酸化カルシウム	酸化マグネシウム
国連番号	UN No.： 1910	—
品名（国連輸送名）	Calcium oxide	—
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	クラス8	—
副次危険	該当しない	—
容器等級	Ⅲ	—
海洋汚染物質	該当しない	該当しない
MARPOL73/78附属書Ⅱ及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない	該当しない
緊急時応急措置指針番号	157 北米緊急時応急措置指針に基づく「2008 Emengency Response Guidebook (ERG 2008)」 （一般社団法人日本化学工業協会 和訳）（発行元：日本規格協会）に掲載	—
その他の安全対策 国内規制	海上規制情報	船舶安全法 （腐食性物質(危規則第 3 条危険物告示別表第 1))
	航空規制情報	航空法 （腐食性物質(施行規則第 1 9 4 条危険物告示別表第 1))
	陸上規制情報	消防法（貯蔵等の届け出を要する物質）
特別な安全上の対策 その他（一般的）注意	消防法の規定によるイエローカード保持の対象物 直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。	
1 5．適用法令		
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険有害物（法第57条、施行令第18条別表第9） ☐ 名称等を通知すべき危険有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9） リスクアセスメントを実施すべき危険有害物（法第57条の3）	
船舶安全法	腐食性物質(危規則第 3 条危険物告示別表第 1)	
航空法	腐食性物質(施行規則第 1 9 4 条危険物告示別表第 1)	
消防法	貯蔵等の届出を要する物質(法第 9 条の 3 ・危険物令第 1 条の 1 0)	
外国為替及び外国貿易管理法	輸出貿易管理令別表第 1 の 1 6 の項	
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	該当しない	
毒物及び劇物取締法	該当しない	
1 6．その他の情報		
分類実施日	H29.3.1、政府向けGHS分類ガイダンス（H25年度改定版（ver1.1）：JIS Z7252:2014準拠）を使用	
参考文献	1) 職場の安全サイト（厚生労働省） 2) 化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIIP） 3) 令和3年度（2021年度） 厚生労働省・経済産業省・環境省によるGHS分類結果（NITE） 項目9及び11は 各データ毎	
本安全データシートは作成年月日時点の情報に基づき記載されておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。 また記載事項は、通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。 ☐		
本SDSは、上田石灰製造株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。		
会社名	上田石灰製造株式会社	
住所	岐阜県大垣市赤坂町3751番地	
電話番号	0584-71-1133(代)	
FAX番号	0854-71-5161	
緊急連絡先	0584-71-1131（営業部直通）	